



パリ協定と中長期将来予測 —2度目標の実現にむけて—

日時：2018年3月7日（水）15:00～16:30

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館3階 プレゼンテーションホール
<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html>

講師：花岡 達也 氏

国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員
同志社大学 客員教授

2015年の気候変動枠組条約(UNFCCC)第21回締約国会議でパリ協定が採択され、「産業革命前と比べて地球全体の平均気温上昇を2℃未満に抑える」（通称“2度目標”）が合意されました。しかし、加盟各国がUNFCCC事務局に提出した2030年までの温室効果ガスの排出削減努力目標を合計しても、2度目標の達成に十分ではないと指摘されています。削減努力目標がどの程度不十分なのか？どのような対策技術が必要なのか？そもそも、中長期の将来予測はどのように推計しているのか？などの最新の国際的な研究動向を紹介し、また、温室効果ガスだけでなく、大気汚染物質、短寿命気候汚染物質への対策と2度目標にむけた気候変動対策との関連について、近年注目されている議論も紹介します。

講師プロフィール：

2004年 東京大学大学院工学系研究科 博士取得
2004年～ 国立環境研究所 社会環境システム研究領域 研究員
2009年～ 国立環境研究所 地球環境研究センター 主任研究員
2011年～2012年 ケンブリッジ大学 気候変動緩和策研究センター 客員研究員
2011年～ 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員

[主たる活動]

IPCC評価報告書第三作業部会の執筆協力者・査読者、WMO/UNEPオゾン層破壊の科学アセスメント2018の執筆者、IPCC排出係数データベース編集委員会など、気候変動、オゾン層破壊、大気汚染等の将来予測や環境政策・対策技術の評価に関する国内外の研究活動に従事。



参加費無料

参加申込は <https://goo.gl/forms/QVpKiSnS9Uoya7KW2> よりお願い致します。